

まちづくり 協力に感謝

地域振興への寄付で感謝状

生コン製造や販売などの株式会社ケイホク（苫小牧市、高山海晋代表取締役）と関連会社株式会社ウエスト胆振（室蘭市、小島愛子代表取締役）から、地域振興に一と、それぞれから50万円の寄付を受け、町は感謝状を贈りました。役場を訪れたケイホクの高山長基取締役社長、小島代表取締役は「お世話になった白老への思いが強く、少しでも恩返しをしたい」と話していました。（11月29日）



図書館に図書購入費を寄付

白老町青色申告会（山口美津男会長）から、図書購入費3万円の寄付を受けました。社会貢献の一環で、租税教育や税務関係の図書の充実に利用してほしいと寄付しました。今回で22年目で、昨年度は18冊の図書を購入しました。山口会長は「社会貢献のために役立ててほしい」と話していました。

（12月6日）



放課後児童クラブに図書カードを寄贈

町内5カ所の放課後児童クラブで本の読み聞かせボランティアに励んでいるシラハギグループ（竹田博子代表）から、図書カード5万円の寄付と手縫いの雑巾100枚の寄贈を受けました。竹田代表は「コロナ禍で活動ができない中、今年は萩野児童クラブで本を読んであげることができた。目を輝かせて聞いてくれる子どもたちにたくさんの元気をもらいました」と話していました。（12月7日）



苫小牧信用金庫（苫小牧市、小林一夫理事長）から、150万円の寄付を受けました。受領したのは10月の梨湖フーズ株式会社につき2件目です。小林理事長は「これからも地域を支えていきたい」と話していました。（11月24日）

地方創生応援税制 企業版ふるさと納税で感謝状

苫小牧信用金庫、株式会社ナチュラルサイエンス、株式会社希松

株式会社ナチュラルサイエンス、親会社の株式会社希松（東京都、小松令以子代表取締役社長）から、2,100万円の寄付を受けました。受領したのは3、4件目です。同社は虎杖浜でナチュの森を運営しています。小松代表取締役社長は「虎杖浜、竹浦地区の地域貢献に使ってほしい」と話していました。（12月2日）



コンサドーレ札幌 宮澤選手、福森選手がやってきた！



宮澤裕樹選手と福森晃斗選手が11月17日、来町しました。今回の訪問は、町が7月に株式会社コンサドーレと包括連携協定を締結した事業の一環。

町内のサッカー少年団「白老FC」の選手たちとサッカー教室などの交流が行われました。ファンの出迎えを受けた両選手は「たくさんの皆さんに歓迎されうれしい」（宮澤選手）、「初めて白老を訪れたので、時間がある時にはウポ

ポイやいろいろな所へ行ってみみたい」（福森選手）と話していました。

白老FCの藤原駿君(12)は「足技などいっぱい学べてとても参考になった」と、プロ選手との交流に感激していました。